



平成30年7月豪雨災害(宮川町牧戸)

もしもの時のために、準備はできていますか？

近年、飛騨市ではゲリラ豪雨や線状降水帯による短時間の激しい雨により、河川の氾濫、国道やJR線への大規模な土砂崩れなどの被害が発生しています。

自然豊かな地域で暮らす私たちにとって、災害はすぐ隣にある“日常のリスク”。「自分や自分の家は大丈夫」と思っている、災害は突然やってきます。でも、少しの備えや情報の共有が、大切な命を守る力になります。

この機会に、“わたしにもできる”防災を、考えてみませんか？



平成30年7月 国道41号(古川町数河)

今、災害が起きたら 行動できますか？

- ☐ 災害情報の入手方法を知っている
- ☐ 備蓄品（最低3日分）・非常用持ち出し品を準備している
- ☐ ハザードマップで避難方法を知っている
- ☐ 避難経路・避難場所・避難所を把握している
- ☐ 災害時の家族との連絡方法を決めている
- ☐ 家族で災害時の行動や発生後の行動について話し合いをしたり、決めている



飛騨市防災ハンドブックを
チェック！

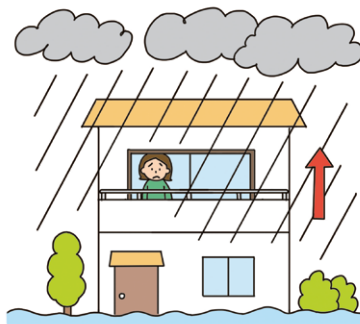


避難の判断に迷わないために

垂直避難か水平避難（自宅外避難）か適切な判断を！

飛騨市は山間地が多く、集中豪雨により河川の氾濫や土砂崩れが発生しやすい地形です。道路や鉄道が寸断され、集落が孤立するリスクも抱えています。

👉 周囲の状況や水位をよく確認し、
自宅が安全な場合は2階等できるだけ高い場所に「垂直避難」、
浸水や土砂の危険がある場合は早めの「水平避難」を！



垂直避難



水平避難

＼防災のプロに聞きました／

行政と防災士会の連携が飛騨市の強み！

風水害・土砂災害が起きる前に、今のうちからできることがあります。自分や家族がとるべき行動を確認して、早めの避難で命を守りましょう！

「避難準備情報」を知っていますか？

市では、警戒レベル3（高齢者等避難）が発令される前に、市独自の「避難準備情報」を通知しています。

この情報が出たら、

🚨 避難の準備を開始し、高齢者や子ども連れなどは早めの避難を！

👉 「まだ大丈夫」と思わず、落ち着いて早めに行動を！



この段階で避難準備を始めましょう！

飛騨市防災士会との連携

防災士会は、約300人の会員が所属する市内最大級の防災組織です。避難所の開設支援や要配慮者への声かけ、防災訓練などを通じて、地域に根ざした実践的な活動を行っています。市からの「避難準備情報」や警戒レベル発令にあわせて各地域で迅速に行動を開始し、災害時の初動支援にも重要な役割を担っています。

自分たちの地域は自分たちで守る～飛騨市防災士会の活動

防災の知識習得・普及活動



市民の防災の意識や知識の習得のため、広報や出前講座などを各地で行っています。



小中学校の防災教育



学校で防災授業や避難訓練を行い、若年層からの防災意識の向上に努めています。

さまざまな人的ネットワークのつなぎ役



消防団や各行政区役員、各種団体との意見交換、相互応援の仕組みづくりを行っています。

イタリア式避難所訓練「TKB」導入に挑戦



避難所で最も重要とされるトイレ、キッチン、ベッドが充実した避難所設営に市と連携して挑戦中。



今できることから 積み重ねよう！

飛騨市防災士会事務局長・防災士
北平智久さん

「防災」と言っても幅が広く、何から取組めばよいかわからない人が多いと思います。自分が今気になっていること、できることからやってみませんか？スマートフォンで情報入手のために天気予報や災害情報アプリを入れることも大きな一歩です。飛騨市ホームページの防災特設サイトを皆さんのスマートフォンのホーム画面に登録してみませんか？

防災の取り組みをタニンゴトではなくジブンゴトにしていきましょう！



防災特設サイト

地域の防災に 関わる方々の想い

自助・共助の力を高めるために、行政や飛騨市防災士会等が一体となって、日頃から積極的な防災活動に努めることが大切です。わたしたちは「防災」について、どんなことから始めたらいいのでしょうか？



高齢者だけでなく、 妊婦さん・お母さんにも 安心を

赤ちゃん防災リーダー・助産師
鎌村邦子さん

医療・福祉の有資格者で、主に妊婦さんや出産したお母さんのことを考えた防災に取り組む専門家として市が認定した防災士が「赤ちゃん防災リーダー」です。

赤ちゃんのいるご家庭に必要な備蓄品・持ち出し品の説明や指導、勉強会を開いたりしています。

避難先で安心して授乳できる環境がないと、おっぱいが出にくくなるといった問題が起きがちです。

防災士の仲間みんなに協力してもらい、活動を通じてお母さん方への配慮も大事だと知ってもらえたらと思います。

防災士親子で活躍中！

防災の学びは、命を守る一生もののスキルです。ぜひ皆さんも一緒に学びましょう！

防災士・斐太高校1年
北平睦人さん



災害から身を守る「避難スイッチ」を入れるのはあなたです！

異常気象、激甚化、多発する自然災害、いつ発生するか分からない災害にどう備えるか。結局は皆さんの意識次第です。

避難のタイミングが遅れると、それはまさに“脱出”となります。災害時に迷うこと、それはすなわち危険が迫り、リスクが高まることを意味します。

あなたは避難を決断し、自宅を出るまでにどれだけの時間がかかるか考えたことはありますか？

災害を防ぐことはできませんが、事前防災、減災という言葉を知っていますか？

皆さんが自分事として行動することが何より重要です。そのお手伝いを飛騨市防災士会や行政は支援します。ぜひ、ご家族で話し合ってください。



飛騨市役所 危機管理課
吉川慶さん

防災士の資格取得を支援しています！

防災士研修講座を受講し、防災士の資格を取得しようとする方を対象に、講座の受講料と防災士資格取得に対する補助制度を設けています。



防災士の出前講座をご活用ください

防災士による防災意識の向上、知識習得のための出前講座を行っています。参加者10人以上の集まりの場に防災士が出張します。行政区等の研修でもご利用ください。

